

バレーボール競技の部（秋季）

1 日 時

令和6年 9月28日（土）	
開 館	9：00
監 督 会	9：30
開 会 式	9：50
競技開始	10：30

2 会 場 美郷町北郷総合交流センター

3 参加資格 東白杵地区中学校秋季体育大会開催基準に則る。

4 出場制限 ベンチ入りのチーム編成は、監督・コーチ・マネージャー各1名、選手12名の計15名以内とする。ただし、マネージャーは生徒に限る。

5 競技規則 (1) 令和6年度日本バレーボール協会競技規則と本大会競技規則による。
(2) ネットの高さは女子2m15cmとする。
(3) ユニフォームの背番号は1番～20番とする。ユニフォームの規定については県中体連規定に準ずる。
(4) リベロは対照的な色のユニフォームを着用すること。また、ベストを使用する場合には、明らかに異なる色を使用すること。
(5) 監督・コーチ・マネージャーは、規定のマークを左胸部に付ける。
(6) フロアへの立ち入りについては、原則として監督・コーチ・マネージャーならびに当該校の部員のみとする。
(7) 試合間は、I F終了後15分間とする。
(8) 各セット13点目が入った後に給水を目的としたW T Oをとる。（30秒間）

6 競技方法 (1) 出場校数に応じて順位決定戦または総当たり戦、トーナメント戦を行う。
(2) 1ゲーム3セットマッチで行なう。（25点のラリーポイント制）
(3) 総当たり戦における順位については、①勝率②セット率③得失点率④当該チーム同士による勝敗によって決定する。

7 使用球 使用球は、女子：モルテン4号球（人工皮革）の公認球とする。各チームで持参する。

8 組合せ 組合せは、8月30日（金）東白杵地区中学校体育連盟理事・専門部合同会において、各校体育主任の抽選で行う。

9 表 彰 優勝校には優勝旗・賞状を授与する。

10 審 判 日本バレーボール協会公認審判員及び宮崎県バレーボール協会公認審判員で行う。

11 参加申込 所定の用紙により、体育主任を通じて8月30日（金）までに東白杵地区中体連事務局（椎葉中学校）へ2部提出。以後の受付はしない。

12 その他 (1) 県中体連の規定に準じて、県大会の出場資格を得る。

地区大会参加校数	1～5
県大会参加校数	1

(2) 組み合わせはフリー抽選とする。また、本大会優勝校を次年度の地区総合大会の第1シード、準優勝校を第2シードとする。※ 参加校が三校以下の場合、第1シードのみ決定し、次年度地区総合大会の組合せの際に適應する。ただし、合同チームが、単独になった場合は適應しない。
(3) 練習時間の割り当てについては、組合せ抽選後に作成する大会プログラムに示す。
(4) 合同チームで参加する場合は、統一したユニフォームで参加する。校名の連記は義務づけない。
(5) 参加校は、ゴミ袋を用意し、責任をもって後片付けを行い、持ち帰ること。
(6) 感染症及び熱中症対策について、各学校で対策をとること。
(7) 県秋季大会では「監督とコーチの服装は統一したものであること。（同じものとする）」という規定があるため、留意しておくこと。

軟式野球競技の部（秋季）

1 日 時

令和6年	9月28日（土）
開 場	7：30
監 督 会	8：00
開 会 式	9：00
競技開始	9：20

※雨天は29日（日）へ延期

2 会 場 諸塚村野球場

3 参加資格 東臼杵地区中学校秋季体育大会開催基準に則る。

4 出場制限 チームの編成は、監督(または引率責任者)1名、選手25名以内(スコアラー含む)とする。この他に教員または部活動指導員を2名追加することができる。ただし、外部指導者が入る場合(コーチ)は1名とし、計28名以内とする。

5 競技規則

- (1) 2024年度公認野球規則並びに2024年（公財）全日本軟式野球連盟競技者必携による。
- (2) コールドゲームは3回以降得点差15点以上、5回以降得点差7点以上に適用する。
- (3) 雨天・日没により試合続行不能（5イニング終了で試合は成立）の場合は、翌日継続して行うサスペンデットゲームを適用する。尚、雨天等による大会実施可否の判断及び日程の変更については、大会実行委員会で決定する。
- (4) 7回終了時に同点の場合、8回以降はタイブレーク方式を適用する。タイブレーク方式は、継続打順で前回の最終打者を1塁走者、その前の打者を2塁走者とする。すなわち、無死1・2塁の状態にして1イニング行い、得点の多いチームを勝ちとする。勝敗が決しない場合は、さらに継続打者でこれを繰り返す。尚、7回までと同様、規則によって認められる選手の交代は許される。
- (5) ユニフォームは統一し、背番号は必ずつける。尚、番号は1番から25番の通し番号とし、原則としてポジション順とする。
- (6) 監督はチームと同一でのユニフォームとし、背番号30番をつける。靴はスパイクか運動靴で選手と同色とする。また、コーチのユニフォーム及び靴は監督と同様とし、背番号29・28番をつける。
- (7) シートノックは行わない。
- (8) チームは、監督1、部長1、コーチ1、選手25名以内（スコアラーを含む）とし、登録された監督・部長・コーチ・選手以外はベンチに入れない。また、ベンチは抽選番号の若い方を一塁側とする。（部外者のベンチ入りは 中体連承認者に限る）
- (9) 第1試合のメンバー用紙交換及び攻守決定等は、試合開始時刻の30分前とする。（メンバー用紙は読仮名つきのを4部作成する。）
- (10) 同一チームが連続して試合を行う場合の2試合目の開始時刻は、1試合目終了から40分後を原則とする。なお、メンバー用紙交換及び攻守決定等は、試合開始時刻の20分前とする。
- (11) ベンチのメガホンは1個とする。（使用は監督のみとする）
- (12) リストバンド・マスコットバット・バットリングの使用を禁止する。
- (13) 抗議は、監督または当該プレーヤーのみが行うことができる。
- (14) 競技に関する連盟特別規則（監督またはコーチ等が投手の所へ行く回数の制限、守備側のタイムの回数制限、攻撃側のタイムの回数制限）を適用する。
- (15) 規則3-0-3原注（投手は1イニングで投手以外の守備に2度以上つくことはゆるされない。）は適用しない。
- (16) 手袋を使用する場合は、白または黒の同一色のもののみ許可する。
- (17) 捕手は、ファウルカップを使用すること。
- (18) 投手の投球制限については、肘・肩の傷害防止を考慮し、下記の通りとする。

① 大会中の1日の投球数・・・100球

※試合中に100球に到達した場合は、その打者が打撃を完了するまで投球できる。

6 競技方法 (1) 出場校数に応じて順位決定戦または総当たり戦を行う。

(2) 総当たり戦において、勝率が同じ場合は、別途規定により順位を決定する。

- 7 使用球 (財)全日本軟式野球連盟公認球M号球(ナガセケンコー)を使用する。各チーム4球持参する。
- 8 組合せ 組合せは8月30日(金)東白杵地区中学校体育連盟理事・専門部合同会において、各校体育主任の抽選で行う。
- 9 表彰 優勝校には優勝旗・賞状を、2位には賞状を授与する。
- 10 審判 日向地区軟式野球連盟審判員(審判員が不足する場合は、他地区の中学校教員等に依頼することもある。)
- 11 参加申込 所定の用紙により、体育主任を通じて8月30日(金)までに東白杵地区中体連事務局(椎葉中学校)へ2部提出。以後の受付はしない。

- 12 その他 (1) 県中体連の規定に準じて、県大会の出場資格を得る。

地区大会参加校数	1~5
県大会参加校数	1

- (2) 組合せについては、フリー抽選とする。また、本大会優勝校を次年度の地区総合大会の第1シード、準優勝校を第2シードとする。
※ ただし、参加校が三校以下の場合、第1シードのみ決定し、次年度地区総合大会の組合せの際に適応する。合同チームが、単独になった場合は適応しない。
- (3) 雷・雷雨・雷鳴の場合は中断とする。詳細の対応については大会本部(部会長・競技専門部)で判断し決定する。
- (4) 参加校はゴミ袋を用意し、責任をもって後片付けを行い、持ち帰ること。
- (5) 感染症及び熱中症対策について、各学校で対策をとること。
- (6) 合同チームの場合、ユニフォームをそろえる必要はない。ただし、背番号の重なりがないようにすること。

ソフトテニス競技の部（秋季）

1 日 時

令和6年	9月28日（土）
開 場	7：30
監 督 会	8：15
開 会 式	8：45
競技開始	9：00

※雨天は29日（日）へ延期

2 会 場 美郷町立美郷北義務教育学校 テニスコート

3 参加資格 東白杵地区中学校体秋季体育大会開催基準に則る。

4 出場制限 団体戦 監督1名・コーチ1名・選手8人以内の計10名以内とする。
個人戦 各学校10ペア以内とする。

5 競技規則

- (1) 現行の日本ソフトテニス連盟ソフトテニスハンドブック及び本大会競技規則による。
- (2) 選手は、背部（県名・姓・学校名）にゼッケンをつけること。また、監督・コーチは胸部（県名・学校名・監督またはコーチ）にゼッケンをつけること。（県大会要項を参照）
- (3) 選手の服装は「上はゲームシャツ、下は膝丈よりも上のパンツまたはスカート」を着用すること。また、ソックスおよびテニスシューズを着用する。服装のカラー化を認める。（用具を含む）選手は競技中、シャツの裾を外へ出したり袖をまくることはしない。挨拶時にはシャツを入れる。長袖アンダーシャツ・ロングアンダーシャツ（ステッチも含めて）、サポーター、テーピングを使用する場合、その色は単色無地を原則とする。
- (4) ストリングに装着する衝撃吸収材は使用しない。ストリングは単色とする。
- (5) 団体戦のオーダーは試合前にコート上で整列して交換する。
- (6) ベンチ入りは、団体戦は監督・コーチ・登録選手のみ、個人戦は監督・コーチ・当該選手のみ認める。
- (7) サイドコーチは禁止する。
- (8) 監督・コーチは、スポーツウェアを着用する。シューズは選手に準ずる。
- (9) 選手・監督・コーチは、服装、用具に新たなデザインなどを入れないこと。ただし、端の部分に学校名・名前を記入してもよい。
- (10) 異議の申し立ては禁止する。但し、質問を妨げるものではない。質問の際は団体戦においては、（ベンチ入りしている）監督・コーチもしくは選手とするが、個人戦については、当事者である選手の方とする。
- (11) 団体戦において、両チームともに2ペア編成で、1勝1敗となった場合は、次のア・イにより勝者を決定する。
 - ア 両チームの得失ゲーム数・ポイント数を比較して決定する。
 - イ アの規定により勝者が決定できない場合は、代表ペアの決定戦を7ゲームで行う。なお、代表ペア
アのオーダーは、ベンチ入りしているメンバーの中から改めてオーダーを提出するものとする。
- (12) 総当たり戦における個人戦の順位の決定については、次のア～ウにより順位を決定する。
 - ア 2者同率の場合は当該対戦の勝者を優位とする。
 - イ 同率者が3以上の場合は、同率者相互のみの成績を比較し、勝率の高い順に順位を決定する。
 - ウ イの規定により順位が決定できない場合は、同率者相互のみを比較（得失マッチ数・ゲーム数・ポイント数）し、これにより2者同順位になった時点でアを適用する。
- (13) マッチ中にコート内での通信機器等の使用はしない。

6 競技方法 (1) 団体戦は2校による順位決定戦とし、個人戦はトーナメント方式または総当たり戦とする。

(2) ゲームはすべて7ゲームマッチとする。

7 使用球 公認球（白色）とする。（ショーワもしくはナガセ）各学校2球持参する。

8 組合せ 組合せは、8月30日（金）東白杵地区中学校体育連盟理事・専門部合同会において、各校体育主任の抽選で行う。個人戦の組合せは、東白杵地区中学校体育連盟ソフトテニス競技専門部会で行う。

9 表彰 団体は優勝校に優勝旗・賞状を、個人は3位までを表彰する。

10 審判 選手相互で行う。試合後は、勝者が採点票を本部に持参する。その際、監督は採点票が正しく記入されているか確認し、勝者サインを記入する。個人戦の審判については、本部から指定または敗者審判制を行う。

11 参加申込 所定の用紙により、体育主任を通して8月30日（金）までに東白杵地区中体連事務局（椎葉中学校）に提出すること。以後の受付はしない。

12 その他 (1) 県中体連の規定に準じて、県大会の出場資格を得る。

【団体戦】

地区大会団体戦参加校数	1～4	5～8
県大会参加校数	1	2

【個人戦】

地区大会団体戦参加校数	0	1～4
県大会参加ペア数	2	4

(2) 雷・雷雨・雷鳴の場合は中断とする。詳細については大会本部（部会長・競技専門部）で判断し決定する。

(3) ルール・審判については各学校で指導を徹底しておくこと。

(4) 参加校は、ゴミ袋を用意し、責任をもって後片づけを行い、持ち帰ること。

(5) 感染症及び熱中症対策について、各学校で対策をとること。

卓球競技の部（秋季）

1 日 時

令和6年	9月28日（土）
開 館	8：00
監 督 会	8：20
開 会 式	8：40
競技開始	9：00

2 会 場 椎葉村立椎葉中学校体育館

3 参加資格 東臼杵地区中学校秋季体育大会開催基準に則る。

4 出場制限 団体戦 各学校男女1チーム（監督1名・コーチ1名・選手4～8名）
個人戦 シングルスのみとし、各校の出場制限はしない。

5 競技規則 (1) 現行の日本卓球ルール及び本大会規則とする。
(2) ゼッケンは必ずつける。（日本卓球協会交付のゼッケンも可）
(3) チーム編成は次の通りとする。
① 単・単・複・単・単で編成する。
② チームは各学校男女1チームずつとし、4～8名で編成する。
(4) ベンチは次の通りとする。
① 団体…監督・コーチ（部顧問・副顧問の当該校教員、部活動指導員と認定済外部指導者のうち1名まで）、登録選手4～8名
② 個人…ベンチコーチは1名可（団体に準ずる者またはチーム内選手から1名）
(5) 服装は、日本卓球協会公認のユニフォームとする。シャツの裾を外に出したり袖をまくりたりすることはしない。

6 競技方法 (1) 団体戦は順位決定戦とする。
(2) 団体戦は3点先取で勝敗を決する。
(3) 個人戦は「予選リーグ+決勝トーナメント方式または決勝リーグ」「トーナメント方式」「総当たり戦」のいずれかとする。予選リーグ及び総当たり戦では勝率の高い順に順位を決定する。勝率が同じ場合は次のア～ウにより決定する。
ア 2者同率の場合は、当該対戦の勝者を優位とする。
イ 同率者が3者以上の場合は、同率者相互のみの成績を比較し、勝率の高い順に順位を決定する。
ウ イの規定により順位を決めることができない場合は、同率者相互のみを比較（セット率・ポイント率）し、これにより2者同位になった時点でアを適用する。
(4) 各試合とも11本5セットマッチとする。
(5) 団体戦で定数に満たないチームは欠員のまま参加を認めるが、その欠員は、オーダーの若い順の所とする（5名の場合1番棄権、4名の場合1・2番棄権）。

7 使用球 ホワイトボール公認球40mmボールを使用する。

8 組合せ 組合せは8月30日（金）東臼杵地区中学校体育連盟理事・専門部合同会において、各校体育主任の抽選で行う。個人戦の組合せは、東臼杵地区中学校体育連盟卓球競技専門部会で行う。

9 表 彰 団体戦優勝校に優勝旗・賞状、個人戦1位～3位に賞状を授与する。

10 審 判 団体戦は相互審判、個人戦は敗者審判または本部からの割り当て審判とする。

11 参加申込 所定の用紙により体育主任を通して8月30日（金）までに2部、東白杵地区中体連事務局（椎葉中学校）に申し込むこと。申し込み期日以後は受け付けない。

12 その他 (1) 県中体連の規定に準じて、県大会の出場資格を得る。

【団体戦】

地区大会団体戦参加校数	1～4	5～8
県大会参加校数	1	2

【個人戦】（1・2年生それぞれ下記の出場枠）

地区大会団体戦参加校数	0	1～4
県大会参加者数	2	4

- (2) 体育館内（フロア）での飲食はしないこと。選手の給水は体育館の端で行い、水筒などの水滴の垂れない容器を使用すること。
- (3) 参加校は、ゴミ袋を用意し、責任をもって後片づけを行い、持ち帰ること。
- (4) 感染症及び熱中症対策について、各学校で対策をとること。

剣道競技の部（秋季）

1 日 時

令和6年	9月21日（土）
開 館	7：30
監 督 会	8：20
審 判 会	8：30
開 会 式	8：50
競技開始	9：20

2 会 場 日向市立東郷学園体育館

3 参加資格 東臼杵地区中学校秋季体育大会開催基準に則る。

4 出場制限 (1) 個人戦は、男女とも出場制限を設けない。（団体戦と兼ねてよい）
(2) 団体戦のチーム編成は、男女とも監督1名・コーチ1名・選手5名・補員2名の計9名以内とする。団体戦は5人制とする。ただし、3人制及び4人制でも参加できる。この場合のオーダー編成は次の通りとする。
【3人制】先鋒・中堅・大将 【4人制】先鋒・中堅・副将・大将

5 競技規則 全日本剣道連盟の剣道試合・審判規則、剣道試合・審判試合細則、全日本剣道連盟「主催大会実施にあたっての感染拡大予防ガイドライン」及び「新型コロナウイルス感染症が収束するまでの暫定的な試合審判法」、令和6年度宮崎県中学校体育連盟剣道競技「申し合わせ事項」による。

6 競技方法 (1) 個人戦は、男女ともトーナメント戦または総当たり戦とする。個人戦は3分間・3本勝負とし、勝敗の決しない場合は延長を行う。延長戦は2分刻みで行い、延長戦を2回行った後に小休止（深呼吸等）、再度2回延長戦を繰り返したら、面を外して休憩（5分間）の時間をとる。以後、延長戦の続く限り繰り返す。
(2) 団体戦は、男女ともトーナメント方式または総当たり戦とする。
(3) 団体戦のトーナメント戦では、3分・3本勝負・勝敗が決しない場合は引き分けとする。勝者数・取得本数が同数の場合は任意の代表者による代表戦（3分1本勝負、延長戦は個人戦同様）を行う。
団体戦の総当たり戦では、3分・3本勝負・勝敗が決しない場合は引き分けとする。代表戦は行わない。リーグ戦の勝敗は得点制とし、勝ち1点、引き分け0.5点、負け0点を与える。①得点、②チーム勝敗、③総勝者数、④総取得本数の順で順位を決定する。なお、①～④の全てにおいて同率の場合は任意の代表者による代表戦（3分1本勝負、延長戦は個人戦同様）を行い、順位を決定する。

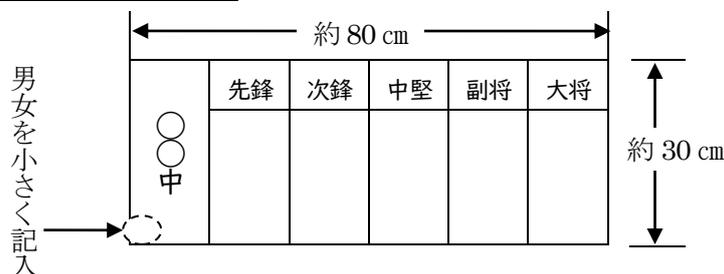
7 組 合 せ 組合せは、8月30日（金）東臼杵地区中学校体育連盟理事・専門部合同会において、各校理事の抽選で行う。個人戦の組合せ、東臼杵地区中学校体育連盟剣道競技専門部で行う。

8 表 彰 団体戦優勝校に優勝旗と賞状、個人戦1～3位に賞状を授与する。

9 審 判 宮崎県剣道連盟日向支部で行う。

10 参加申込 所定の用紙により、体育主任を通して8月30日（金）までに2部作成し、東白杵地区中体連事務局（椎葉中学校）へ申し込むこと。以後の申込は受け付けない。

※団体戦出場校は、大会当日受付に四つ切りにしたオーダー表（市販されているものでもよい）1部を提出すること。



※団体戦出場校は、大会当日受付に申込文書内の「剣道団体選手オーダー用紙」を1部を提出すること。

11 その他 (1) 県中体連の規定に準じて、県大会の出場資格を得る。

【団体戦】

地区大会団体戦参加校数	1～3	4～6
県大会参加校数	2	4

【個人戦】

地区大会団体戦参加校数	0	1～2	3～4	5～6
県大会参加者数	2	4	6	8

- (2) 紅白の目印は各学校で準備する。（目印は幅5cm、長さ全長70cmとする。）
- (3) 監督の服装は、正装を原則とする。
- (4) 会場使用上の留意事項を厳守すること。
- (5) 参加校は、ゴミ袋を用意し、責任をもって後片づけを行い、持ち帰ること。
- (6) 感染症及び熱中症対策について、各学校で対策をとること。

バドミントン競技の部（秋季）

1 日 時

令和6年	9月28日（土）
監督会	8：15
開会式	8：30
競技開始	9：00

2 会 場 美郷町立美郷南学園体育館

3 参加資格 東白杵地区中学校秋季体育大会開催基準に則る。

4 出場制限 (1) 団体戦は、各学校1チームとし、そのチーム編成は、監督1名、コーチまたはマネージャーのいずれか1名、選手5～7名とする。なお、登録選手が3名に満たないチームの出場は認めない。また、外部指導者は登録済みの者とする。

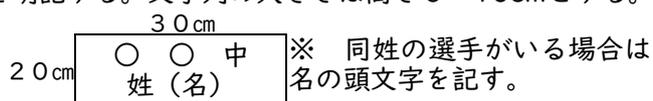
(2) 個人戦は、各学校シングルス8名、ダブルス4組までとする。

5 競技規則 (1) 令和6年度(公財)日本バドミントン協会競技規則並びに本大会要項を適用する。

(2) 団体戦・個人戦ともに同一選手が単と複を兼ねて出場することはできない。

(3) 競技時の服装は、日本バドミントン協会検定合格品とする。但し、学校指定の体育服は可とする。

(4) 上衣背面上部に学校名・姓を明記する。文字列の大きさは高さ6～10cmとする。



(5) 個人戦のベンチ入りについては、監督1名とコーチまたはマネージャー1名の2名まで入ることができる。

6 競技方法 (1) 団体戦は、トーナメント戦方式とする。

(2) 団体戦は、複2組・単1名とし、複1ー単ー複2の順で試合を行う。

(3) 個人戦は、トーナメント戦方式または総当たり戦方式とする。

7 使用球 大会使用球は水鳥球(日本バドミントン協会二種検定合格球以上)を使用する。

8 組合せ 団体戦の組合せは、8月30日（金）東白杵地区中学校体育連盟理事・専門部合同会において、各校体育主任の抽選で行う。個人戦の組合せは、東白杵地区中学校体育連盟バドミントン競技専門部で行う。

9 表 彰 団体戦優勝校に賞状、個人戦1～3位に賞状を授与する。

10 審 判 各学校監督、選手・補助員で行う。

11 参加申込 所定の用紙により体育主任を通して8月30日（金）までに2部、東白杵地区中体連事務局

（椎葉中学校）に申し込むこと。以後は受け付けない。

12 その他 (1) 県中体連の規定に準じて、県大会の出場資格を得る。

【団体戦】

地区大会団体戦参加校数	1～2	3～4	5～6
県大会参加校数	1	2	3

【個人戦】（シングルス・ダブルス）

地区大会団体戦参加校数	0	1～5
県大会参加者数	2	4

(2) インターバル中の給水はスクイズボトルを使用する。

(3) ルール・審判については各学校で指導を徹底しておくこと。

(4) 参加校は、ゴミ袋を用意し、責任をもって後片づけを行い、持ち帰ること。